

卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

本校の卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）は、成績評価に基づいた「卒業判定の要件」と、履修を通して修得を期待する能力、育成する人材像を示した「教育目標に定める人材育成」に基づき定めています。

【卒業判定の要件】

- ・学年度ごとの前期末、後期末に行われる試験点数、及び平常点（出席率、小試験、レポート提出等）から総合的に算出される成績評価が、履修科目全てにおいて合格判定（S、A、B、C）となっていること。
- ・全ての履修科目において出席率が80%以上であること。80%未満の場合は出席率に応じた補講レポートの提出、及び補習授業の受講等によって不足分の出席を充足していること。

【教育目標に定める人材育成】

- ・エンタテインメントに関する高度かつ最新の知識と技術を修得し、感動を創造できる人材であること。
- ・革新的事象に対する柔軟な受容を行え、新たな時代に対応できる知的な好奇心を持った人材であること。
- ・グローバル化の中で多様な文化や価値観を尊重することができ、多角的な視点を持った人材であること。